

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 674 号	氏名	持 永 浩 史
学位審査委員		主 査	吉 浦 孝一郎
		副 査	河 野 茂
		副 査	福 岡 順 也
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 非小細胞肺癌における上皮成長因子受容体 (<i>EGFR</i>) の遺伝子変異検索は、<i>EGFR</i> 阻害薬投与の一般的指標となっている。一方、5-フルオロウラシル (5-FU) と dihydropyrimidine dehydrogenase (DPD) 阻害剤の合剤が、非小細胞肺癌治療薬として有効との報告がなされている。これら報告の中で、5-FU および DPD 阻害剤合剤の有効性の機序を <i>EGFR</i> 遺伝子変異との関連の上から明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 非小細胞肺癌手術試料および細胞株を用いて、変異濃縮解析法を用いて <i>EGFR</i> 遺伝子の変異検索を行っていた。DPD 発現定量を定量 PCR 法と免疫組織化学染色法の両法により行っていた。これらの手法は、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、<i>EGFR</i> 遺伝子変異がある非小細胞肺癌において DPD 発現が亢進していることを確認し、これらの事象の関連を確定させた。今後の肺癌の遺伝子研究および治療研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は肺癌研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			